

PRESS RELEASE

報道関係各位

2025 年 10 月 16 日

株式会社トレードワルツ

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」、AI-OCR 機能を正式リリース
～生成 AI の活用で読取精度 98%を実現～

株式会社トレードワルツ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐藤 高廣、以下「トレードワルツ」）は、貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz®」において、AI-OCR 機能を正式リリースいたしました。本機能により、これまで人手で行われていた PDF のデータ化を大幅に効率化します。

■開発の背景

貿易プロセスではステークホルダー間にて多くの書類がやり取りされていますが、未だに紙・PDF 形式が主流です。そのため、書類の作成業務や転記・確認に多くの工数が割かれているのが現状です。TradeWaltz®では PDF の保管やステークホルダー間での連携機能を提供しておりますが、ユーザーから「保管している PDF をデータ化し、他の書類作成や申請に活用したい。」とのお声が多く寄せられたことから、当該機能を開発・提供することいたしました。

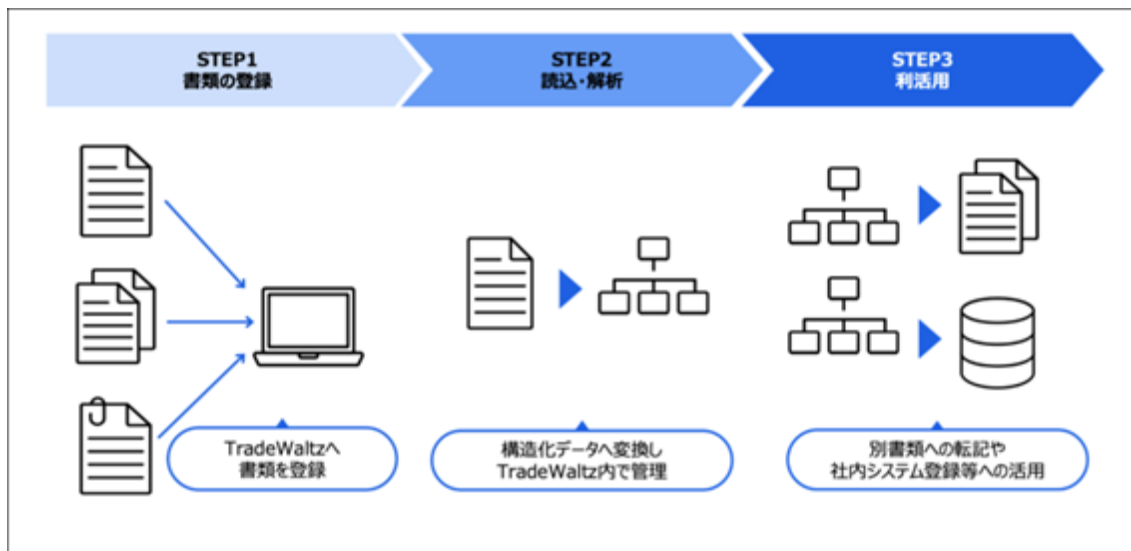
■機能概要

本機能は、TradeWaltz®上に登録された PDF 形式の書類をアップロードし、「読取開始」ボタンをクリックする事で AI が自動的に内容を解析し、構造化データとして登録・共有できる仕組みです。採用した「生成 AI 抽出型 AI-OCR*」は、大規模言語モデル（LLM）を活用して文脈から項目を理解し、事前の座標定義なく、Invoice 番号、商品明細、数量、金額、通貨などを高精度に抽出します。当社内で実施した実証試験においては、商業インボイス帳票で 98%の項目読取精度を確認しております。

*今回提供を開始する AI-OCR は、株式会社シナモンの技術を採用しています。

■導入効果

本機能は、TradeWaltz®上に登録された貿易書類を自動でデータ化し、構造化データとして登録・管理することができます。これにより PDF として受け取ったデータを他の書類作成や申告に流用可能となり、また必要に応じて自社システムへの取り込みも容易となります。



■初期対応と今後の展開

初期リリースでは、輸入業務における商業インボイス（Commercial Invoice）の読取に対応いたします。今後はユーザーの要望に応じて、対象帳票をパッキングリスト（P/L）や船荷証券（B/L）などへと順次拡大し、対応範囲を輸出業務にも広げながら、さらなる機能強化を進めてまいります。

■11月セミナー紹介

本件に関連し、「TradeWaltz×AI-OCRで描く、データが流れる貿易の未来図—AIが読み取り、データが動く。業務がつながる貿易の新時代—」と題したオンラインセミナーを開催いたします。

日時：11月11日(火)11:00-12:00

実施方法：オンライン（Zoom）

参加費：無料（事前登録制）

参加申込み URL：https://www.tradewaltz.com/event_seminar/s11561/

※同業他社、個人などのお申込みはお断りさせていただく場合がございます。

■トレードワルトツについて (<https://www.tradewaltz.com>)

株式会社トレードワルトツは、貿易業務に関わる情報を電子データで一元的に管理できる貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」を SaaS として運営・提供しています。NTT データと主要な貿易実務

者 18 社からなる貿易コンソーシアムで約 4 年間のシステム開発・技術実証、法改正提案、事業構想を経て、サービス化。

現在は、株式会社 NTT データ、豊田通商株式会社、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社、住友商事株式会社、三菱商事株式会社、株式会社 TW Link、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社三井住友銀行、豊島株式会社、株式会社上組、株式会社フジトランス コーポレーション、三井倉庫ホールディングス株式会社、株式会社日新、株式会社三菱 UFJ 銀行、丸紅株式会社、三菱倉庫株式会社、株式会社みずほ銀行、損害保険ジャパン株式会社の 18 社の共同出資により、事業を運営しています。

本件に関するお問い合わせ先（株式会社トレードワルツ）
広報・マーケティングチーム 担当：菊地、榎田 Email：info@tradewaltz.com